

# 岐阜県中山間農業研究所ニュース

## 2012年度 第1号

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56  
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751  
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp  
中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1  
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116  
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp

成功させよう!



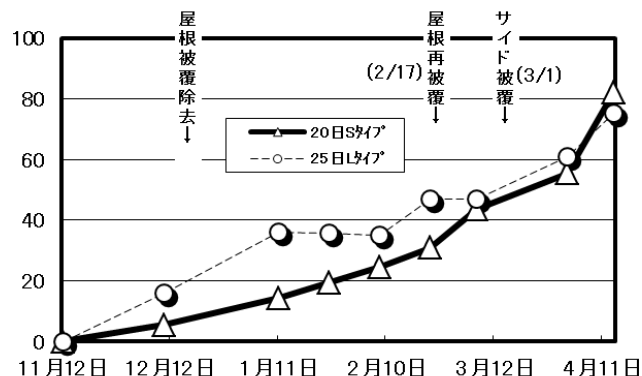
当研究所が農政部に移管されてから2年目を迎えました。引き続き地域・産地の期待に応える研究機関を目指して、地域の要望に応える「地域密着課題」を中心に、先取的研究「重点研究課題」や農林水産省への公募による競争的資金を活用した研究も併せて行ってゆきます。また天災に見舞われた昨年の状況に鑑み、農地が被災した場合を想定した研究にも、今年度より新たに取り組むこととしました。さらに生産団体をはじめ関係機関とも連携を密にし、情報発信や技術支援にも力を入れてゆきます。

### ● ほうれんそうの越冬作型に適した肥料

ほうれんそうの越冬作型は適期の追肥は難しいことから、追肥なしで栽培できる施肥体系が求められています。そこで当研究所では、緩効性肥料を用いた全量基肥施肥体系についての試験を行っています。これまでの結果から、11月上旬の播種期では、現状市販されている肥料の中では、被覆尿素有の20日～25日溶出タイプの肥料が適していることがわかりました。



11月播種の冬ほうれんそう収穫期の様子



11月施肥の溶出率の推移

## ● 魅力ある花き新規品目の導入に向けて

中山間地域の鉢花は贈答品需要の低迷と暖房経費の高騰等鉢花経営を取り巻く環境は厳しく、低コスト生産と多様化する消費者ニーズへの柔軟な対応が求められています。当研究所では、岐阜県のオリジナル品種である「フランネルフラワー」「サルビアフェニックスシリーズ」など魅力ある新品目について、中山間地の気候を最大限に活かした栽培技術体系を提案し、花き産地の活性化を支援していきます。



生産産農家への導入が進む「フランネルフラワー」



中山間地に合った作型の開発が望まれている  
「サルビアフェニックスシリーズ」

## ● クリ「ぼろたん」を凍害から守れ！-クリ『凍害』対策技術の開発-

県内のクリ産地では新改植の面積が増加しています。しかし、クリは幼木を中心に凍害（写真参照）を受けやすく、場合によっては50%以上の樹が枯死することもあります。近年は、暖冬等の影響もあり凍害の発生する年が増加しており、早急な対策が求められています。このため、中津川支所では兵庫県、農研機構果樹研究所、近畿中国四国農業研究所ならびに農業経営課、恵那農林事務所と共同で対策技術の開発を進めています。



凍害で枯死したクリの幼木  
※幹から黒い液がしみ出している様子



対策技術として検討中の「高畝・マルチ栽培」

## 人事異動（平成24年4月1日付）

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
浅野 正	中津川支所 主任専門研究員	国際園芸アカデミー	鎌谷俊樹	下呂農林事務所	本所 試験研究部長
中教正明	本所 主査	下呂農林事務所	塩谷哲也	岐阜農林事務所	中津川支所 専門研究員
中西文信	本所 専門研究員	飛騨農林事務所	浅野雄二	飛騨農林事務所	本所 専門研究員
川瀬あゆ子	本所 研究員	新任	沖田妙子	古川土木事務所	本所 主任